

チャペル週報

No.11

2026.6.29~7.3

主は貧しくし、また富ませ

低くし、また高めます。

サムエル記上 2 章 7 節



ダッドレーメモリアルチャペル（西宮聖和キャンパス）

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時間：西宮上ヶ原キャンパス・神戸三田キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00
 場所：各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

6月29日(月)	神 人 建 短大	碓井 蘭(神学部3年) 小西 砂千夫(関西学院大学名誉教授) Christian Triebel(宣教師、学長直属准教授) 白倉クラス ダッドレーチャペル
6月30日(火)	神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教	説教学演習 B 日下部 春希(神学研究科 M2 年) Andreas Rusterholz(宗教主事) 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド 大宮 有博(宗教主事) 経済と人間⑩(最終回) 本郷 亮(経済学部教授) 木原 桂二(宗教主事) 音楽チャペル 関西学院聖歌隊 前川 裕(宗教主事) 道券 康充(総合政策学部教授) 献血実行委員会
7月1日(水)	神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教	音楽チャペル 混声合唱団エゴラド 私が好きな聖書の言葉① 井上 智(宗教センター宗教主事) 献血実行委員会 献血実行委員会 李 善恵(宣教師、人間福祉学部教授) 三宅 康之(国際学部教授) 竹内 富久恵(日本キリスト教団神戸愛生伝道所/北須磨教会牧師) 中井 珠恵(愛染橋病院チャプレン)
7月2日(木)	神 文 社 法 経 商 人 国 総 短大	柳本 和良(日本キリスト教団鈴蘭台教会牧師) Andreas Rusterholz(宗教主事) 私が好きな聖書の言葉② Timothy O. Benedict(宣教師、社会学部准教授) 大宮 有博(宗教主事) 第10回能登半島地震ボランティア報告 ヒューマン・サービス支援室/現地ボランティア参加学生 音楽チャペル 関西学院ハンドベルクワイア 献血実行委員会 Chapel in English Int'l Volunteer Program Report 井上 智(宗教センター宗教主事) 土井 直彦(千里国際キャンパス宗教主事)
7月3日(金)	ランバス 神 文 経 理・工・生環	隣人愛について④ 打樋 啓史(宗教総主事) <u>ベーツチャペルにて開催</u> 小見 のぞみ(関西学院短期大学宗教主事) Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事) 平和への祈り 舟木 譲(宗教主事) Christian Triebel(宣教師、学長直属准教授)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20~8:40 ベーツチャペルにて開催

7月3日(金) 人権教育研究室のために 武田 丈(人権教育研究室長)



Zoom でもご参加いただけます。 オンライン (Zoom)

神様を捕える

原田 匠

僕はクリスチャンではありません。中学部からここ関西学院で学んだ後、4年の他校勤務を経て母校に帰りました。一度「神様がない」学び舎に勤めたからでしょうか。時折「神とは？信じるとは？」という問いが頭をもたげるようになりました。ある教会で率直に尋ねたところ、その御仁は「嬉しいことがあった時も、悲しいことがあった時も、これはイエス様が十字架にかかってくださったおかげだ、と感ずることですよ。」と仰いました。思いもよらない「言葉」に静かな感動を覚えました。

先日、サグラダ・ファミリアの「イエスの塔」が完成したというニュースが目にとまりました。建築家アントニ・ガウディの信仰そのものを形にしたような「建築」と言われます。没後100年を超える今も、その信仰は「造り続けられる」ことによって受け継がれています。

「建築」に思いを馳せると必ず心に浮かぶ1冊があります。夢枕獏の小説『シナン』です。16世紀オスマン帝国の大建築家ミマール・シナンの生涯が壮大に描かれています。シナンはキリスト教徒の家庭に生まれましたが、少年時代にイエニチェリとして徴用され、イスラム教徒となりました。その後、卓越した才能と勤勉さによって、生涯で数百もの建築に携わったと伝えられています。

物語の最終章で、シナンの心の中で亡きミケランジェロとの対話が想起されます。「あなたの神はどういう神なのかね」という問いに対し、シナンは「わたしは、ようやく、神をこの手に捕えることができそうです」とつぶやき、続いて「神を捕えたとしたら、それは、空間をもってせねばならない。」と語られます。神を求める人間の普遍的な問いが描かれているのです。

シナンもガウディも信じる神のために、「建築」に生涯を捧げました。「神を求める問い」に対して、最後まで建築家であろうとしたからでしょう。では、建築家ではない人は、何をもってこの問いに答えを見出すことができるのか。国語教師である僕には「言葉」しかありません。

同小説にはこんな場面もあります。神と建築に対して悩み、その問いを言語化することすらままならないシナンは、ミケランジェロに助けを求めます。するとミケランジェロは、「仕事をしなさい」と言います。そして「それ以外に答を得る方法はないよ。人に問わずに、仕事に問うことだ。自分の手に問うことだ。仕事をしなさい」と続けます。

人との対話を愛しむ一方で、自問自答を胸に秘めて眼前の仕事に勤しむこと。これこそが奉仕ではないでしょうか。教師である僕の場合、その先に「言葉」があることを信じたいと思います。

(高等部教諭)

●サテライトキャンパスでのチャペルアワー

大阪梅田キャンパスと西宮北口キャンパスでもチャペルアワーを実施しています。

どなたでもご参加いただけるプログラムです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

大阪梅田キャンパス（アプロースタワー14階 1405教室）

7月16日（木）17:50～18:10 打樋 啓史（宗教総主事）

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂で行っている学生音楽団体のコンサート。今回は当礼拝堂が工事中のため、関西学院会館ベーツチャペルで行います。昼休みのひととき、ぜひお越しください。

7月17日（金）関西学院交響楽団

いずれも 12:45～13:15 <入場無料>

場所：関西学院会館ベーツチャペル

主催：宗教センター・宗教音楽委員会

●夏の献血週間（西宮上ヶ原キャンパス）のお知らせ

以下のとおり、夏の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

日時：7月2日（木）、3日（金）10:30～11:20／12:30～17:00

場所：吉岡記念館ラウンジ、中央芝生横

主催：宗教総部献血実行委員会

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日（原則）の10:00～11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも（クリスチャンでなくとも）ご参加できますのでどうぞお越しください。

7月12日（日）10:00～11:00

◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

<郵送先>

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155 関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

◆盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。